

浅川清流環境組合財政状況について (令和3年度 下半期)

1 歳入予算の執行状況 (令和4年3月31日現在)

歳入予算の執行状況は、予算現額 13 億 5,942 万円に対し、収入済額 13 億 4,806 万 6 千円、収入割合 99.2%となっている。この収入済額の内訳は、分担金及び負担金 8 億 7,877 万 6 千円、繰越金 1 億 8,170 万 8 千円、諸収入 2 億 8,758 万 2 千円である。

(単位：千円)

| 科目 | 当初予算額 | 補正 予算額 | 予算現額 | 収入済額 | 予算現額に対する 収入済額 | 収入割合 |
|----------------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------------|-------|
| 1 分担金及び 負担金 | 878,776 | 0 | 878,776 | 878,776 | 0 | 100.0 |
| 2 繰越金 | 1 | 181,708 | 181,709 | 181,708 | △ 1 | 100.0 |
| 3 諸収入 | 298,935 | 0 | 298,935 | 287,582 | △ 11,353 | 96.2 |
| 歳入合計 | 1,177,712 | 181,708 | 1,359,420 | 1,348,066 | △ 11,354 | 99.2 |

※端数は四捨五入。

2 歳出予算の執行状況 (令和4年3月31日現在)

歳出予算の執行状況は、予算現額 13 億 5,942 万円に対し、支出済額 10 億 1,711 万 2 千円、執行率 74.8%となっている。この支出済額の内訳は、議会費 415 万 1 千円、総務費 5 億 1,660 万 1 千円、事業費 4 億 5,816 万 4 千円、公債費 3,819 万 6 千円であり、予備費からの支出はなかった。

(単位：千円)

| 科目 | 当初予算額 | 補正予算額 | 予備費支出 及び流用増減 | 予算現額 | 支出済額 | 予算残額 | 支出割合 |
|-------|-----------|---------|-----------------|-----------|-----------|---------|-------|
| 1 議会費 | 5,893 | 0 | 0 | 5,893 | 4,151 | 1,742 | 70.4 |
| 2 総務費 | 472,201 | 181,708 | 0 | 653,909 | 516,601 | 137,308 | 79.0 |
| 3 事業費 | 641,420 | 0 | 0 | 641,420 | 458,164 | 183,256 | 71.4 |
| 4 公債費 | 38,198 | 0 | 0 | 38,198 | 38,196 | 2 | 100.0 |
| 5 予備費 | 20,000 | 0 | 0 | 20,000 | 0 | 20,000 | 0.0 |
| 歳出合計 | 1,177,712 | 181,708 | 0 | 1,359,420 | 1,017,112 | 342,308 | 74.8 |

※端数は四捨五入。

3 組合債の状況 (令和4年3月31日現在)

組合債の残高

(単位：千円)

| 区分 | 件数 | 起債額 | 現在高 |
|---------------|----|------------|------------|
| 新可燃ごみ処理施設建設工事 | 4 | 11,441,300 | 11,419,219 |

※端数は四捨五入。

4 財産の状況（令和4年3月31日現在）

公有財産 (単位：㎡)

| 区分 | 延面積 |
|----|----------|
| 建物 | 14,998.2 |

基金 (単位：千円)

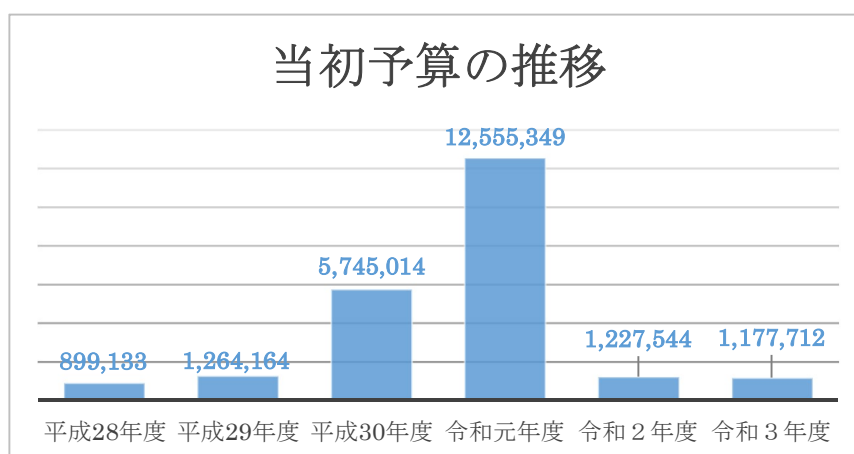
| 区分 | 現在高 |
|--------|--------|
| 財政調整基金 | 90,855 |

※端数は四捨五入。

※一時借入金の現在高については、該当がないため記載していない。

5 財政の動向

(単位：千円)



6 財政方針について

歳出総額の抑制・削減に取り組むことを前提に、次の項目を重点的な指針とした。

- ア 必要な経費は遺漏なく計上し、精査のうえ円滑な施設運営を期すること。
なお、経費の精査に当たっては、各課間のさらなる連携を図り、情報共有に努めること。
- イ 法令遵守及び適切な事務執行の原点に立ち返り、要求の根拠となる法令、条例等を再度確認し、誤りのないよう編成すること。
- ウ 国・都の動向に注視し、最新の情報を捕捉して効果的に活用すること。
特に、負担金以外の財源（歳入）について情報収集を行い、積極的な財源確保に努めること。
- エ 売電料については、売電市場の動向等を注視して計上すること。
- オ 働き方改革（労働時間短縮）の観点も踏まえ、既存事業の見直しを行い、各課の創意工夫による経費削減や時間外勤務削減等のより効率的かつ効果的な取組を積極的に行うこと。